

市議会だより No.62 令和元年8月1日



きたあきた

6月定例会などの内容をお伝えします。

6月定例会の審議	P 2
請願・陳情／議会全員協議会／表彰	P 3
常任委員会審査報告等／臨時会	P 4～5
一般質問	P 6～11
委員会所管事務調査報告	P 11
議員連盟総会	P 12
議会中継閲覧の仕方など	P 13
世界から見た「きたあきた」	P 14

世界文化遺産登録に向けあと一歩

～伊勢堂岱遺跡～

一般会計補正予算1億2784万7千円増 総額240億9934万5千円

可決



6月定例会の

主な議事

- 専決処分承認
- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- 財産の取得（内部系パソコン、消防ポンプ自動車）

令和元年北秋田市議会6月定例会は、6月13日（木）から6月25日（火）までの13日間の会期で行われました。6月定例会では、条例案3件、予算案10件、財産の取得2件、陳情2件などを含めた23件が審議され、それぞれ可決、採択されました。

主な補正予算	予算額
産業会館修繕費	3,344,000円
コミュニティー助成事業補助金（前野自治会テント・椅子等）	2,000,000円
プレミアム付商品券システム導入委託費	2,442,000円
プレミアム付商品券取扱業務委託費	54,677,000円
健康管理システム風しん対策対応ツール導入委託費	648,000円
風しん抗体検査委託費	3,438,000円
植樹事業委託費（国立市と共同事業、森林環境譲与税を活用）	2,481,000円
中小企業振興資金保証料補給金	1,440,000円
中小企業振興資金利子補給金	1,262,000円
道の駅阿仁レジスター、プリンター購入費	1,044,000円
鷹巣東小学校創立140周年記念事業補助金	500,000円
公有財産購入費（伊勢堂岱遺跡付近の土地を県より購入174㎡）	5,714,000円

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子 秋田県教職員組合 大館北秋支部 支部長 永瀬 知己	採 択	提 出
地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情	連合秋田大館地域協議会 議長 山内 一滋	採 択	提 出



議会全員協議会のようす

幼児教育の無償化

第3回議会全員協議会が6月25日に開かれ「幼児教育の無償化に関する対応について」の説明がありました。

当局から幼児教育の無償化については「10月から開始されることが決まっているが、制度の細部については国から示されていないた

議会全員協議会

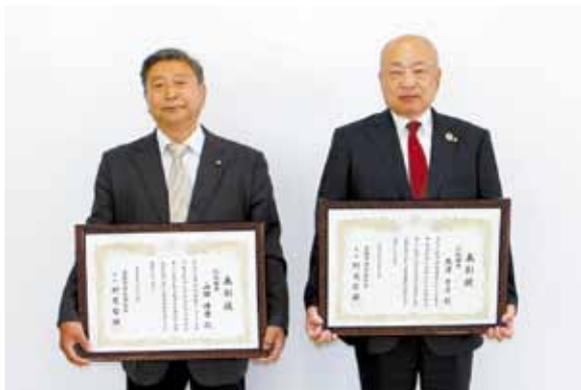
め条例案や予算案を提案できる段階まで至っていない。」との説明があり、現段階で国から示されている制度概要については「今回の幼児教育の無償化の対象は、満3歳以上全てと住民税非課税世帯の満3歳未満が10月から保育料が0円になる。しかし、これまで保育料に含まれていた副食材料費（おかず代）は、新たに実費徴収することになる。副食材料費は国から4500円を基本にするとの通知がきているため、管内の施設と協議しながら適切な金額を設定する。」と説明があった。これに伴い「県の動きとしては、無償化の対象外となる3歳未満は、すこやか子育て支援事業を継続し市と共同で第3階層から第5階層まで最大で2分の1を、また、3歳以上の副食材料費への助成を予定している。さらに市としては、独自に県の助成に該当しない第6階層以上の方に4分の1の助成をしていきたい。」と説明がありました。

2名の議員を表彰

全国市議会議長表彰

第95回全国市議会議長会定期総会が6月11日、東京国際フォーラムで開催され、本市議会からは、黒澤芳彦議長と山田博康議員の2名が議員15年以上在職者として表彰されました。

6月定例会本会議の冒頭に、表彰伝達式が行われ、佐藤重光副議長から2名に表彰状が贈呈されました。



表彰を受けた山田 博康 議員と黒澤 芳彦 議長

総務文教常任委員会

公共施設総点検を

本委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件、単行議案1件、陳情2件の、計6件でした。

県用地購入について

財務部関係予算案では、産業会館の補修に伴う工事請負費について「目視でもわかるくらい建物が劣化しており、個別計画では計画的に改修していくとあるが、点検、修理等はしてこなかったのか」との質疑があり、当局からは「個別施設計画、総合管理計画の中でも予防保全が大事だということ、定期的な点検をしながら進めていきたいと考えている最中に、今回こういった落下事故が発生してしまった」との答弁がありました。さらに「これが人的被害だったら大変なことになっていく。他の施設はどうか」との質疑があり「これからすべての施設を点検したい」と答弁がありました。以上の審査を踏まえ、全会一致で可決すべきと決しました。

次に教育委員会関係では、伊勢堂岱遺跡と縄文館の敷地内にある秋田県用地の土地購入費について「無償の方向でも議論された中で有償になった理由は」との質疑があり、当局からは「協議の中で最優先が無償譲渡であったが、他の事例が有償譲渡ということ、協議の結果、無償譲渡はできないということになった」との答弁がありました。以上の審査を踏まえ、全会一致で可決すべきと決しました。

(委員長 大森 光信)



市民福祉常任委員会

プレミアム商品券発行

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案6件、単行議案1件の計9件でした。令和元年度北秋田市一般会計補正予算案については「プレミアム付商品券取扱業務委託費4500万円の基準は何か」と質疑があり「4000円で5000円分の商品券を1人5セットまで購入可能で、該当者は3歳未満の子供500名と非課税かつ課税者の扶養についていない方8500名で合計9000名程度を見込んでの予算である」との答弁がありました。

消防ポンプ自動車

財産の取得（消防ポンプ自動車）については「入札参加業者が全て市外の業者であります。故障等の修理についても購入先の業者に依頼するのか」との質疑があり「ポンプや赤色灯などの艤装は専門メーカーに頼まなければなりません。またメーカーの代理店

が市内に無いため入札には入っていない。エンジンやドアミラーなど通常の車両に係わる部分に関しては、市内の整備工場に修理を依頼している」との答弁がありました。

北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定については「プレミアム付商品券や保育料無償化といった、消費税増税と同じ理由の政策であります。追加提案されました。その理由として県に確認を取ったために時間がかかったとの事であるが何を確認したのか」との質疑があり「市が独自で軽減している部分があるため改正前の段階で今回国が示した割合よりも低い率で保険料を設定しているため、県の見解を求めたが問題がなかった」との答弁がありました。

以上の審査を踏まえ、付託案件は全て全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 佐藤 文信)



3つの常任委員会

産業建設常任委員会

森林環境譲与税事業

「友好の森」

当委員会に付託された案件は、予算案4件でした。

令和元年度一般会計補正予算について、農林課関係では森林環境譲与税を活用した本年度の事業についての質疑があり、当局からは「友好交流都市である国立市等との交流とし、カリキュラムの中にある木育や友好関係事業として国立市が親子30組、まどびの短期留学が15名、地元の子供が15名で8月16日から19日の夏休み期間中に600本の杉の苗を植林し、都市と山村の友好の森事業などを進める」との答弁がありました。

また「森林環境譲与税及び森林管理法の関連で具体的にどのような取組み事業をやるうとしているのか」との質疑があり、当局から「新たな取組みとして、森林管理システムをスタートする。今年度は15年分の全体計画を策定し、初年度の対象区域の意向調査を行い集積までの予定である。来年度以降は意向等をもとに

経営計画案を作成し、所有者から同意を得られれば、企業体に委託し手入を進めていく予定」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ全会一致で可決すべきと決しました。

新鷹巣浄水場の建設進捗率

水道事業会計補正予算について、新鷹巣浄水場の進捗率の報告があり、当局より「建設と電気機械設備に分かれており5月末、建設は52・5%で工程通り、電気設備は64%で2%程少ないが充分挽回できる」とのことでありました。

以上のような審査を踏まえ上下水道課関係3件については、全会一致で可決すべきと決しました。

(委員長 堀部 壽)

第1回臨時会

鷹巣中学校校舎大規模改造 工事請負契約の議案等

可決

令和元年第1回臨時会が5月16日に開かれ、鷹巣中学校校舎大規模改造の工事請負契約の締結などの議案6件が上程され、審議されました。

番号	件名	契約金額
議案第59号	工事請負契約の締結について (鷹巣中学校校舎大規模改造工事)	344,300,000円
議案第60号	工事の委託に関する協定の締結について (奥羽本線前山・鷹ノ巣元町こ線橋架け 替え工事に伴うこ線橋撤去工事)	245,943,500円
議案第61号	財産の取得について (ロータリ除雪車2.6m幅)	46,090,000円
議案第62号	財産の取得について (ロータリ除雪車2.2m幅)	45,760,000円
議案第63号	財産の取得について (除雪ドーザ11t級)	23,320,000円
議案第64号	財産の取得について (除雪グレーダ3.7m級)	35,200,000円

※ 予定価格が1億5000万円以上の工事契約や予定価格が2000万円以上の動産の買入による財産取得については、議会の議決に付さなければならぬことが条例で決められています。

活かそう市民の声 市政を問う!

一般質問

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。



① 虻川 敬 議員
 1 市が目指す日本遺産
 2 北海道・北東北縄文遺跡群のユネスコ推薦
 3 森吉山と観光
 4 市民提案型まちづくり補助金
 [P.6]

② 板垣 淳 議員
 1 憲法、法律、条例を遵守した市政運営
 [P.7]

③ 関口 正則 議員
 1 林業振興
 2 観光振興
 3 働き方改革
 4 スポーツ振興
 [P.7]

一般質問は、6月17日・18日に行われ、10名の議員が登壇しました。
 ※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

④ 佐藤 光子 議員
 1 子どもの遊び場
 2 ごみの減量・資源化に向けた取組と推進
 [P.8]

⑤ 久留嶋 範子 議員
 1 高齢者の運転事故対策
 2 加齢性難聴者への補聴器購入補助
 [P.8]

⑥ 杉淵 一弘 議員
 1 災害対策
 2 ふるさと納税制度
 [P.9]

⑦ 三浦 倫美 議員
 1 放課後児童支援員の拡充
 2 消防体制の拡充
 [P.9]

⑧ 山田 博康 議員
 1 観光施策
 2 事業継承策
 3 林業施策
 [P.10]

⑨ 福岡 由巳 議員
 1 地域公共交通
 2 高齢者の交通安全
 3 合川地区の公園整備
 [P.10]

⑩ 松橋 隆 議員
 1 観光行政
 2 移住定住対策
 3 阿仁マタギ日本遺産認定申請
 [P.11]

◆一般質問とは?
 議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めらるもので、定例会ごとに行なわれます。



北秋田市の観光資源について 虻川 敬 (新創会)



Q 今年度阿仁マタギが日本遺産に登録にならなかった原因をどうとらえているか。今年度はどのようにして日本遺産を目指すのか。
 A 認定にならなかった原因として観光資源活用としてのストーリーが不足していたと感じている。次年度の認定を目指し6月21日のマタギシンポジウムを通しマタギ文化の価値や意義について情報を広く発信して参ります。訪れる観光客に「観る」「体験する」「食べる」を満足して頂くよう展示施設の充実、関連文化財をめぐるモデルツアー、マタギ料理の提供など活用について検討して参ります。教育委員会だけでなく商工観光課とも連携をとり情報共有しながら日本遺産を目指します。
 Q 伊勢堂岱縄文館周辺整備はどのようにして行くか。
 A 既存のインフラをブラッシュアップする他、小ヶ田駅を伊勢堂岱遺跡最寄り駅として認知されるよう周知して行く。秋田県の事業になるが、小ヶ田駅から伊勢堂岱縄文館と遺跡まで通路を建設中であり、アクセスは改善されるものと考えている。一体的な整備は縄文時代の風景を体感していただ



伊勢堂岱縄文館

るよう、縄文の森の再生や散策路の景観保全に努め、遺跡全体が公園として訪れていただけるよう進めて行く。
 Q 森吉山周辺を北秋田市が主導となり国定公園に昇格するよう動くべきでは。
 A 市民の方々が国定公園にする事がこの北秋田市の観光や、森吉山振興にとって大切な事であるとすれば、積極的に私から応援したいと思っております。森吉山は北秋田市だけでなく秋田県の観光の中心だと私は考えておりますので、これに向けて精力的にこれからも取り組んで参ります。

憲法と法律を守った市政運営を

板垣 淳 (共産党議員団)



Q 市が行っている仕事のうち、憲法と法律に違反していることが二つあるので、それをたください。

一つは自衛官募集について。市は住民基本台帳から対象年齢の人を抽出して、紙に印刷して自衛隊に「提出」し、さらには自衛官募集のダイレクトメール発送業務まで行っている。しかし、憲法は個人の権利擁護をうたい、個人情報保護法はプライバシー保護のため目的外使用を禁止している。公務員法は守秘義務を課し、住民基本台帳法は閲覧は可能とするものの提供は認めていない。つまり、市民個人の了解を得ないで情報を第三者に渡すのは許されていない。やめるべきだ。

A 今年2月の総理大臣の自衛官募集をめぐる発言に端を発し、各自治体によって対応が異なっていることがクローズアップされた。当市としては、法令に基づく協力は今後も継続するが、情報の提供の仕方については改めて検討します。

Q もう一つはコムコムや公民館に設置している輪転機は（印刷機）の使用について。市教育委員会は「使用させる団体」と「使用

させない団体」に区別し、その違いの基準は政治的であるかそうではないか、としている。しかし、社会教育法は、行政が特定の団体に肩入れしてはならないこと、市民の思想信条は分けへだてなく保障しなければならないことを定めている。だから部屋もコピー機も誰にでも使用させている。なのに輪転機使用だけ差別するのは理屈にあわない。見直すべきだ。

A 憲法と社会教育法から判断し、今後は輪転機も区別せずに使用させます。



自衛隊案内コーナー(コムコム内)

森林譲与税の活用で森林業活性化を

関口 正則 (緑風・公明)



Q 今回の税制改正と今後どのように整備計画や譲与税の活用を進め、労働力確保や林業の活性化を図るのか。

A 今まで管理されていない森林を市が整備管理するため創設された制度なので、課せられた役割は大きいと思います。今後、15年間の全体計画を策定し、間伐の他、人材育成や木材の利用促進などを進めます。成長産業化には木材の安定供給と流通コストの削減が必要であり、需要者ニーズに対応した製品開発や公共建築物への活用など、資源循環の構築に取り組みます。

Q 譲与税創設を機に、市単独の林業振興策は考えられないか。

A 従来の補助事業と合わせ、譲与税も活用しながら独自の林業振興策を検討します。

Q 釣り人誘客などの交流人口の拡大や施設の充実について、どのような対策をとるのか。

A 水資源は当市の観光振興にとって貴重な魅力ある資源であり、漁協等と連携して運営の支援や不安定な漁場の安定化に努め、釣り人誘客を図ります。施設の充実については、今後も各施設のブラッ

シユアアップを行い、体験型のメニュー開発等により誘客に努めます。

Q 働き方改革に伴う、職員体制と超過勤務の管理は。

A 職員への制度の周知と勤務予定等の事前確認を徹底し、健康維持向上と超過勤務時間の縮減に努めます。

Q 子ども達の可能性を広めるため、ゴルフ教室や部活を小中学校に設置できないか。

A スポ少結成には子ども達と指導者の決められた人数が確保できれば対応可能です。中学校の部活動は地域や学校の実情に合わせて行っており、教室については競技団体からの申し出で協力できます。



アユ漁解禁

子どもの遊び場整備で 交流人口増加を

佐藤 光子（みらい）



Q 保護者の方々は「子どもの遊び場」を求め、市内外に出向いています。山形県東根市のあそびあランドには年間約35万人が来場しており、市外県外からも多くの方々が足を運んでいます。市内にそのような場があるということは、子育て環境の整備だけでなく、多くの交流人口の増加や地域活性化にもつながると考えます。1年を通して市内外の子どもたちが安全に「遊び」「学び」「体験」できる施設またはエリアの整備をすべきと考えるが、市長の見解は。

A 市内様々な遊び場施設が有効に活用されており、冬期は保育園や公園、家庭などにおいて雪国ならではの外遊びが楽しまれているものと認識しております。今後の市民意識調査等においてニーズをしっかりと調査した上で皆様の声をお聞きし、必要があれば検討していきます。まずは既存施設の有効的な活用の方法を研究してまいります。

Q 全国のこういった施設は同様にたくさんあるが、この子どもの遊び場についてこのように誘客力があるということをどのように認識しているか。

A 北欧の杜公園は、歩くスキー、そり滑りなど冬も非常に楽しめま



あそびあランドの噴水広場

す。1年を通じてたくさんのお客さんに来ていただける場所だとすると、そのことも訴えながら、市の方からも強く県に要望していければと思っています。

Q 正しいゴミの分別の仕方などを明確にし、市民の皆様とともにゴミのさらなる減量・資源化に取り組むためにも、多くの自治体が発行している家庭ごみの分別冊子を作成・配布すべきと考えるが、市長の見解を。

A 県内でも取り組んでいる自治体があるので、そうした事例や市民の皆様からのご意見を踏まえながら、ごみの分別と適正処理の周知に向けて研究を重ねてまいります。

運転免許返納者への具体的支援は

久留嶋 範子（共産党議員団）



Q 高齢者ドライバーの運転事故が後を絶たない、当市での対策は十分か。道路交通法が改正され、認知機能検査が強化されたが、自主的に免許を返納するのは難しい。具体的支援策が必要では。

A 自主返納者に対するバスなどの乗車運賃割引支援の周知を行います。地域包括支援センターと北秋田署の連携による生活支援を行い、返納者から同意を得た場合、センターの訪問による聞き取りを行います。

Q 交通手段として、市内循環バスの本格運行はどのように考えているのか。また、住民からは市民病院までの運行の要望が強い、この声に応えるべきでは。

A 買い物弱者対策として十分機能し得る感覚があるので、実証実績を踏まえ慎重に導入を検討しています。利用者から、市民病院まで運行してほしいとの声もあつたが、運行の距離と時間が大きく延び、結果的に本数が一日数便にとどまります。買い物と通院に利用する人の双方にデメリットが生じます。現時点で既存のバス路線を利用してほしい。市民病院を目的地とするニーズがあるので、利用

しやすい仕組みを検討します。

Q 加齢性難聴者への補聴器購入の補助制度を当市でも取り組めなにか。70歳以上の高齢者の約半数がなるといわれる加齢性難聴、言葉が聞こえにくくなると認知機能が低下し、コミュニケーションが阻害され、認知症のリスクが高まります。補聴器は15〜30万円と高額で年金暮らしの高齢者には手が届きません。公的支援や相談体制が必要では。

A 身体障害者手帳を取得した人が対象になる制度がある。まずは耳鼻科を受診していただきたい。



ゴールドパス特別割引制度

ため池の適正管理及び保全を

杉淵 一弘（新創会）



Q 昨年7月の西日本豪雨災害では、32箇所のため池が決壊、人的被害も出ました。この4月20日に農業用ため池管理保全法が成立しましたが、管内にあるため池の今後の適正管理についての対応は。

A 現在、当市に154箇所ある農業用ため池のうち、88箇所が防災重点ため池として選定されています。受益面積は1385ヘクタールで、管理者は土地改良区、集落や個人・共同管理となっておりませんが、これらの情報は県で管理されることになります。市としては、今後管理者に随時安全点検を行い決壊等の防止に努めるよう周知に努めてまいります。また、ハザードマップについても作成いたします。

Q ため池に遠隔操作システムを導入できないか。

A ため池の構造や導入経費管理費の問題も考えられ、所有者等の要望に応じて協議、検討します。

Q ふるさと納税の返礼品が改正地方税法により、寄付額の3割以下の地場産品に規制されますが返礼品は、どのようなプロセスを経て選定しているか。また、その準備に要した費用はどうか。



適正管理を万全に!!

A これまでは、事業者登録書及び返礼品提案書で、市内事業者であれば採択しております。今後は6月の制度変更に伴い「3割基準」「地場産品」といった基準を審査して採択することになります。また、要した費用は寄付総額264万2千4百円に対し、1109万7千円と寄付総額の42%となっております。

Q 寄付額の設定基準は。

A 寄附しやすいう基準で、きりの良い額にしていたが、基準を変え

放課後児童支援員の拡充を

三浦 倫美（共産党議員団）



Q 5月31日参院本会議で成立し来春から放課後児童クラブの職員配置基準が1クラス2人以上が「従うべき基準」から「参酌基準」になり自治体の判断に委ねられますが、人数を減らさず拡充を。

A 当市は、おおむね40人程度を支援単位とし、1支援単位あたり、支援員2人、補助員1人を原則として配置。この体制を維持します。

Q 支援員、補助員の質の向上と賃金等の処遇拡充を。

A 秋田県主催の資質向上研修、児童館等連絡協議会主催の基礎研修に参加いただいております。引き続き研修受講への指導をします。処遇については平成30年度から勤務年数等にに応じて手当を支給。引き続き現行制度適用に努めます。

Q 消防体制の拡充を。合川分署敷地内斜面崩落への対策は。

A 合川分署は築49年、老朽化と敷地が手狭で移転を検討中。他の消防施設の老朽化の状況や地域の消防力の強化も踏まえ、今年度中に方向性を示す考えです。

倉庫付近の斜面崩落は、当面シートで法面を保護し、崩落が進んだ場合にはプレハブ等を設置し、倉庫として転用します。

Q 女性消防吏員拡充の対策は。

A 中高生のインターシップ等の受け入れや「大館・北秋田ふるさとお仕事博覧会」へ消防ブース開設等、PRしてまいります。

Q 消防団員拡充の対策は。

A 団員への個人装備等の予算や費用弁償の増額（1日単位から1回毎に。深夜帯時間外。訓練手当拡充等）、活動環境改善に努め、昨年度の新規入団員数が28名（数年前の約2倍）に。今年度創設の機能別消防団員制度とあわせ拡充に努めます。



消防体制の拡充を

誘客促進に向け今後の対応策は

山田 博康 (無党派)



Q 県内でも特別に恵まれた観光資源、代表的なものとしては、森吉山を中心とした自然観光、伊勢堂岱遺跡等の歴史遺産、マタギ文化に象徴される文化遺産がありながら、首都圏から新幹線を利用して来る観光客の多くが田沢湖駅、角館駅で下車をする。当地への誘客対応について関係機関を始め仙北市との連携を積極的に進めるべく担当部局の連携促進と工夫が必要では。

A 内陸線を含めて仙北市や岩手県との話し合いを通して観光振興に力を入れていきたい。さらに内陸線支援室を活用してまいります。

Q 市の観光関連指定管理施設への対応について、管理者に任せっきりでなく定期的な情報交換の話し合いの場を創る事により、お互いの連携を実現し誘客促進への具体的な対応を探りながら各施設が抱えている課題解決への取り組みができるかと考えるが、当局の対応が不足しているのではないか。

A それぞれの施設に不具合が生じた際、協議により随時対応し、総合計画や予算に反映させている。

Q 零細企業者や商店、宿泊業の



地域活力向上対策が急務

廃業により地域活力が増々削がれている現実に対応は。

A 商工会や関係機関と連携を図りながら県事業引継ぎ支援センターの活用により、事業存続の取り組みを支援してまいります。

Q 伐期を迎えながらも放置されたままの森林は先人の努力を無にする何ものでもありません。それを打開し、換金できる取り組みについて、関係団体、県、国への積極的な働きかけが行政の急務ではないか。

A 森林管理制度を活用し所有者の意向調査を実施し、林家の要望に答えます。

市長三選時の優先施策実行は遅い

福岡 由巳 (無党派)



Q 市長は三選が決まった際、最優先に取り組む施策は？との質問に対して「高齢者は移動の手段がなく不自由している。公共交通体系の整備を進めていきたい」と答えている。任期中の目標は何か。

A いま進めている計画の実行に万全を期したいと思っております。

Q いま、目標として答弁された計画（形成計画）を実行していくためには、すべての業者が一堂に会して根本的、抜本的に改善するために協議すべきでないか。形成計画にもそのように書いています。

A 意見はいただいています。またしつかりとやっていますつもりであります。

Q 意見は受けているとのことであるが、形成計画では、運行コースの再検討、運行回数、他の交通機関との連携、利用料金など懸案事項があるがどうなっているのか。

A ルートについては、鉄道、路線バス、デマンドタクシーでおおむね張りめぐらされています。運行時間帯もまったくその手段がないわけではない。ただ、いろいろな検討する余地はあろうかと思えます。



循環バスの運行は

Q 高齢ドライバーの度重なる悲惨な交通事故を見て、交通安全対策と同時に高齢ドライバーの運転免許証自主返納の支援として本市においても特典制度を急ぐべきでないか。

A 公平性に配慮するという観点から、免許を自主返納した方も含め高齢者対策として検討したいと考えます。

Q 高齢ドライバーの免許証自主返納の支援制度と言うのは、いま全国的になされているが、本市においても急いでできないものか。

A 運転免許証自主返納者に限らず交通弱者等を対象にしたものについては早急に検討します。

持続する観光誘客を図るためには

松橋 隆 (みらい)



Q 将来に向けて持続する観光誘客を図るために台湾の動物園に子熊の贈呈を提案するものである。

A 大変ユニークな提案をいただいた熊類はワシントン条約に記載されている規制対象動物であるが大変興味深いところもあるのでしっかりと調査研究してまいります。

Q どの観光地に行っても舗装されていない駐車場はない。阿仁スキー場の舗装工事を促す。

A NPO法人森吉山と相談しながら実現できる方法で進めてまいります。

Q 安の滝の道路整備は今年5年計画の3年目であるが来年度で竣工できるよう県に強力要望すべきではないか。

A 県と連携を密にし、早期整備完了に向けたお願いをします。

Q 移住定住対策は喫緊の課題。この対策をしてからの成果を問う。

A 30年度末で82世帯106人です。
Q 目標値の設定は総合戦略を上方修正するだけでなく、この地域を守る、維持して行くにはどの位の人口があれば良いのか。国交省が提唱している小さな拠点づくり等を参考にしながら設定すべきで

ないか。

A 次回の総合戦略の際にその辺の要素もふまえて十分検討してみます。

Q 市営住宅を移住者に提供できないのか。

A 単身者であっても入居が可能になるような制度の見直しを検討します。

Q 阿仁マタギ日本遺産認定申請を再々度するのか。

A 阿仁マタギは貴重な文化資源であり重要な観光資源でもあります。また、現在海外メディアの取材を受けるなど海外からも高い関心が寄せられている。阿仁マタギの歴史と文化を後世に引き継ぐためにも引き続き認定に向けて取り組んでまいります。



未舗装の阿仁スキー場

所管事務調査報告

青森市議会を視察研修

広報特別委員会所管事務調査

広報特別委員会の所管事務調査先として「市民がわかりやすい議会だよりを発行している市議会を研修したい」とのことで、青森市議会を選定し、5月23日に調査を実施しました。

決定したテーマに基づき 特集記事を掲載

議会だよりは、平成29年5月「ぎかいの森」としてリニューアルし、ページ数も12ページから16ページへ、また、文字を極力排除し余白をつくる紙面構成に変えたとのことで、中でも特徴的なのは、表紙を含め3ページを特集記事として、テーマを2年後まで委員会で協議され決定されておりました。一般質問では、議員35人中6割以上の議員が毎回質問するとの説明がありました。それにより議会だよりについても、各議員の掲載スペースを小さいものの、わかりやすくまとめており、字体やレイアウトについてもスッキリして読みやすいものでした。

市民の意見を反映させた 「議会だより」へ

市民の反応としては、電話やメールなどで「見やすくなった」「読みやすくなった」という声が複数あり、今後も、市民の意見を反映した議会だよりを努めていくとのことでした。

今回の調査では、大変貴重な意見や編集方法を聞くことができ、参考にしながら、今後の編集に活かしていきたいと考えています。



研修の様子

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟

林産業活性化の

実現に向けて

令和元年6月13日、北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会が開催されました。

本会は、北秋田市の森林と林業・林産業の活性化の実現に向けて活動することとし、議員全員（20名）で構成されています。

【令和元年度の事業計画】

- ①森林の整備・林業・木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通して、国、県等関係機関に対して要望活動を行う。
- ②木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。
- ③豊かな「水と緑」を保全・創造し、未来へ継承していくための活動に参加し、森づくりの推進を図る。

北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟

世界文化遺産への

早期登録を推進

令和元年6月13日、北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟の総会が開催されました。

本会は「伊勢堂岱遺跡」の世界文化遺産への早期登録を推進することを目的とし、議員全員（20名）で構成されています。

総会では、世界文化遺産への早期登録推進するための調査研究や関係自治体・機関との連携などを盛り込んだ令和元年度事業計画案と予算案が承認されました。

【本会の役員】

会長	黒澤 芳彦
副会長	佐藤 重光
事務局長	佐藤 文信
幹事	大森 光信
	久留嶋 範子
	堀部 壽
	山田 博康
監事	福岡 由巳

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

さらなる

利用促進に向けて

令和元年6月13日、秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定時総会が開催されました。

定時総会では、平成30年度の事業報告と決算報告、令和元年度の事業計画案と予算案が承認されました。

事業計画では「秋田内陸縦貫鉄道は阿仁合駅舎を全面改装をし、本市の地域観光拠点として大いに期待されている。また、民間による募金プロジェクトも1800万円を超え、列車を大幅改修された。これらにより、インバウンドの効果はもとより、さらなる誘客が期待されるところである。当会としても、同鉄道および沿線について理解を深め、同線活性化のため、定時総会の実施、同鉄道および沿線の研究を行う」としました。

北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟

商工業の発展と

改善に向けて

令和元年6月13日、北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟の定時総会が開催されました。

定時総会では、平成30年度の事業報告と決算報告、令和元年度の事業計画案と予算案が承認されました。

【令和元年度の事業計画】

- ①地元商工業者の最新の取り巻く現状を把握し、北秋田市商工会への支援活動を行う。
 - ②地元事業者が将来にわたって事業を継続・発展させていくための調査・研究
 - ③地域振興事業など地域活性化の為にぎわい創出や地域資源を活かした地場産品の販路開拓強化への理解
- 《具体的取り組み内容》
- ・『経済動向経営支援二一ズ調査報告書』に基づいた勉強会の実施
 - ・北秋田市商工会報の配布
 - ・商工関連の研修・視察

本会議の生中継や録画映像がご覧になれます

北秋田市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、3月定例会よりパソコンやスマートフォンからインターネットを通して本会議の生中継や録画映像が閲覧できるようになりました。

①〔北秋田市ホームページ〕



①北秋田市議会をクリック

②〔市議会のページへ〕



②市議会中継をクリック

③〔議会中継のページへ〕

北秋田市議会 議会中継



③再生をクリック（本会議の生中継がご覧になれます）

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています》

- 対象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



議会報告会

令和元年度の「議会報告会」を次のとおり開催します。

○開催日時

令和元年10月13日
各会場午前10時から

○開催場所

《鷹巣地区》

ふれあいプラザ

コムコム

《合川地区》

合川農村環境

改善センター

《森吉地区》

森吉コミュニティ

センター

《阿仁地区》

阿仁農村環境

改善センター

（大阿仁出張所）

世界から見た「きたあきた」

身の回りにいるとても親切な北秋田市民のおかげで、すばらしい経験がたくさんありました。例えば、餅っこ祭りでミスもちっこになりきったり、パーティーや遠足や花見に参加したり、旅したり、茶道や浴衣の着付けなどの文化を経験したりできました。阿仁地区にボクシングを教えることもできました！令和元年チャレンジデーも、北秋田市のために一生懸命頑張りました。皆さん、おかげさまで、とても素敵な1年間を過ごすことができました！一生忘れられません！



大阪城



ミシガン州デトロイト市



ミシガン州の冬



サーフィン

自己紹介



皆さん、こんにちは！「アマンダ」と申します。去年8月に出身のアメリカ、ミシガン州から北秋田に参りました。鷹巣南中学校、鷹巣中央小学校、鷹巣南小学校で英語を教えています。大学の専攻は日本語と建築で、美しい文化が味わえるように日本にやってきました。趣味は自然にいたりや体を動かすこと、世界各国の文化を学んだり旅行したりすることなどです。体を動かすと言えば、特にサーフィンが好きです！今年の8月にアメリカに帰国し、大学院で建築を勉強するつもりです。

『表紙写真の募集について』

【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市内において、おおむね1年以内に撮影したもの。
- ②未発表のもの。
- ③2～4MBのデジタルデータ（JPG形式）で提供できるもの。

④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。

⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス

【gikai@city.kitaakita.akita.jp】

【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までにご利用いたします。

【発行日】

5月1日・8月1日
11月1日・2月1日



次の定例会と各常任委員会は「9月」予定です
市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（森吉庁舎）
市民福祉（合川庁舎）
産業建設（阿仁庁舎）

広報特別委員会
委員長 杉 潤
副委員長 三 浦
委員 佐藤 武 佐藤 虻 三 杉
光 浩 光 倫 一
光 人 子 敬 美 弘